



開校44年目

六中だより 1月号

〒352-0023 埼玉県新座市堀之内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://j-dairoku-c-niiza.edumap.jp>

全生徒数：675名



未来の自分を変えられる
～ 美しく・温かく・常に前進 ～

校長 斉藤 直之

能登半島地震において、被害を被られた方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復、ご復興を祈念いたします。

私は、日記とまではいきませんが、手帳に簡単なメモを書いています。毎年、手帳をつけていますので、今年で何冊目の手帳になるのでしょうか。日付と曜日しか入っていない新しい手帳を書き始める時、「今年はどのような年になるのだろう。」とわくわくしながら考えます。まだ数字しか入っていない白いページを眺めて、これから来る日々を想像してみます。そして、「今年はこんなふうにしたい。」と、ちょっとした目標をもちます。手帳をあとで眺めるのは楽しみでもあるのですが、実は、メモが全部埋まっている年は、今までにありません。その空白の時期は、「きっと忙しかったのだろう。」と、想像するだけです。今年こそ、忙しくても毎日少しでも書き続けたいと思います。

先日、手帳を整理していたところ、数年前のメモが目に入りました。それは、ある中学校の卒業証書授与式に参列した時に聴いた、代表の生徒の言葉でした。

その言葉は、「過去の自分を変えられないけれど、未来の自分を変えられる。」というものです。

その生徒は、目標も見えず、息苦しい日々が続く、学校に行くことができない日々があったそうです。そのときに立ち直るきっかけとなった言葉だそうです。その生徒の言葉の発し方、話している姿

に胸を打たれ、たいへん感動しました。

そうなのだ。自分の人生は、自分の心構え一つで変わるのだと。このような短い言葉で、自分の気持ちの在り方を表現され、その生徒の一言に、ふと自分を振り返ったことを思い出しました。そのときのメモには、「前に進む気持ちが大切！」こう付け加えられていました。私は、年末に、この言葉を改めて見返して、新たな目標をたてるに至った次第です。

さて、1年の中では、目標やめあて、願いをもつ機会がいくつかあります。まず、4月に「今年度はこうしよう。」と思います。次は学期初めに「前学期を踏まえて、今学期はこうしよう。」と思います。そして、年の始まりである1月にも、「今年はどうしよう。」という目標をもつのではないのでしょうか。

学校でたてる1月の目標には、二つの意味合いがあると思います。一つは、「次の学年に向けて、あと3ヶ月で何を頑張っていこうか。」という、めあてです。もう一つは、新年にあたり、少し遠くの大きな目標に向けて、「今年はどうしていこうか。」という目標です。年の初めに、子供たちが少し先の夢や希望をもつことは、これからの将来を考えると、とても大事なことです。その夢や希望があるからこそ、努力を継続していくことができます。「初志貫徹」の心で。

3学期は、まとめの学期といいます。

一人一人が輝きをもって、自分らしく生活し、未来を変えていくことができるよう、3学期の教育活動をしっかりとまとめたい。そう考えています。